

# 2019年度(令和元年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(1)番 福山市立 東小 学校

## 1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	課題発見・解決力	思考力・判断力・表現力	思いやり
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	聴いたり調べたりしたことから新たな課題を設定し、解決に向けての情報収集ができる。	他者の考えの意図を感じながら聴き、自分の考えを深め、その変化を表現することができる。	相手や場に応じて適切な言動ができると同時に、今、なにをすべきかを周囲に提案できる。

## 2 授業の現状

○おおむね落ち着いた状況の中で、授業が展開している。  
 ●教師主導になる傾向がある。児童が自ら課題を発見し、お互いの意見をつないでいく中で課題解決するような、学習者主体のものに改善する必要がある。

転換

## 3 めざす授業の姿

主体的に学び かかわり合う中で 確かな力を身につける授業  
 ① 学習者主体で課題発見解決型の学習展開をしている。 ②他者の意図を感じながら聴き、意見をつなぎながら積極的に対話し、お互いの考えを深め合う練り合いの場が充実している。

## 4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>導入場面:自分自身の関心や気づきをもとに、自ら目標・取り組み方を決める展開に変える。</li> <li>集団解決場面:友達と「意見をつなぐ」をキーワードにし、①意見を言う、②そのために吹き出しに気づきを書く、という経験を積み重ねる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入場面においては、授業研究、研修を通して、自らめあてを決める課題発見型の授業が増えてきている。</li> <li>集団解決場面においては、「意見をつなぐ」授業が増えたが、つなぐ児童に偏りが見られるので、改善する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元のゴールを教師が固めず、意欲や考え、深まりに応じて児童が自分たちで決めたゴールをめざす。</li> <li>意見や吹き出しを書いたノートを紹介するなど、友達と「意見をつなぐ」ための取組を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分たち」で単元のめあてやゴールを設定することに取組んだ。</li> <li>発表の前にノートに考えを書くと、「意見をつなぐ」ことが少しできるようになった。しかし、お互いに自由に意見を述べ合う状況にはなっていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分たち」で考え、選び、決めるために必要な技能や学習の進め方について選択肢を獲得する取り組みを行う。</li> <li>サークルトークの学習形態を増やし、自由に意見を述べ合う力を高めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分たち」は様々な場面で児童が意識した。「自分達で」考え決めた遊びや学習は、児童の表情が輝いた。</li> <li>サークルトークは学習形態だが、自信をもって行える集団にする必要がある。</li> </ul>

## 5 取組の結果等

数値は2019年(R元年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)	〈児童生徒質問紙調査〉(%)	(肯定的評価)
国語	65(-1)	自分にはよいところがある 88.0
算数(数学)	65(-3)	先生はよいところを認めてくれる 96.0
		将来の夢や目標を持っている 76.0
		人の役に立つ人間になりたい 98.0

( )は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査 〈児童生徒質問紙調査〉(%)	(肯定的評価)
学校へ行くのは楽しい	92.0
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	74.0
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	84.0
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	78.0

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%)	(2)月末現在
暴力行為	0
不登校	0.3

## 体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 32/48	「握力」「立ち幅跳び」を県平均かつ全国平均を80%上回る目標に対して、83%になり目標を達成できた。	県平均の結果と比較し、50m走、ソフトボール投げを重点課題に設定した。	体を動かす基本の動作である回旋運動を取り入れた体操を行い、瞬発力、巧緻性を高める。
(女子) 30/48			
目標値	「50m走」「ソフトボール投げ」を県平均かつ全国平均を75%以上達成できるようにする。		

## 福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	66.7	0
仕事に充実感がある	66.7	0

## 児童生徒アンケート(%) (12)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	84.0	16.0
自分の考えは、認められている	80.0	20.0